ゆがまま会社まで行く

あつくもない　雨もふらない

普通の五月の日だ

何も普通というのはいい

何かあるかと表通りをあちこち見る

なる

草花たち　冷たい風も　雨でぬれた葉も

何もなかったように　知らんぷりしている

太陽が出ていない　それがどうしたのと

と言っているようだ

物ごとに動じない姿勢がつたわって来る

ぜひそうありたい

困ることがたくさんあったそれは

おもつがあと四日分しかない

がすぐ解消した

手帳半ばにたのんで　すぐ手帳にとどいた

これは早い　頼ったことがたくさんあった

もうひとつは

これからどうしたらよいか

気が変っていけるか　気が重いお来ごと

無理にこれも勉強だと自分に言い聞かせていた

それを伊藤さんに伝えた

チアマネから知らせがあった

新ヘルパー会社から

「ぶつぶつ言わないで出勤せい」と

理由は不明とのこと

チアマネは他の会社をさがすはめとなった

当の責任者から夜になってデレクがあった

「なにしろ　かみあわぬ」

とは度も言っていた

自分の思うようにならないのだ

力が不安定の象徴だ

かえって気が楽になった　これでよかったのだ

2022
5/3